



様式第9(第5条関係)
(その1)

令和 7年 4月 1日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏名 佐 宗 龍 俊

令和6年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和6年度政務活動費収支報告書

氏 名 佐 宗 龍 俊

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	62,365	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	共同使用コピー機リース料コピー使用料 <u>0 円</u>
資 料 購 入 費	0	
合 計	62,365	

3 残 額

87,635 円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

令和 6 年度政務活動研修費明細

佐宗 龍俊

研修名	第 1 9 回全国市議会議長会研究フォーラム i n 盛岡
研修日	令和 6 年 1 0 月 9 日（水）～ 1 0 日（木）
研修場所	トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）

費用	金額	
交通費	41,100	円
宿泊費	12,100	円
研修参加費	9,000	円
その他（振込手数料）	165	円
合計	62,365	円

政務活動費に充てる金額	62,365	円
-------------	--------	---

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月24日

新城市議会 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

収入印紙

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階

株式会社JTB
盛岡支店
担当者: 支店長 竹内 明彦
領収証番号: 324394317000059001
登録番号: T8010701012863

領 収 証

佐宗 龍俊 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計	12,100円	(税込)
イベント名	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡	
イベント会期	2024年10月09日 ~ 2024年10月10日	
請求額合計	(税込) 12,100円	内消費税/税区分 1,100円 -
(10%対象)	12,100円	1,100円 -
(8%対象)	0円	0円 ※1
(対象外)	0円	0円 ※2
入金額	12,100円	
請求残額	0円	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

領 収 明 細

領収証発行日: 2024年10月07日

2 / 2

領収額合計 12,100円 (税込)

【内訳】

イベント名		第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡				
イベント会期		2024年10月09日 ~ 2024年10月10日				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税	
2024年08月03日	2024年10月09日 盛岡グランドホテルアネックス(ツイン (1名利用)／一泊朝食付) 佐宗 龍俊 様	12,100円	1	12,100円	10%	
	① 請求額合計			12,100円	1,100円	
		(10%対象)		12,100円	1,100円	
		(8%対象 ※1)		0円	0円	
		(対象外 ※2)		0円	0円	
	② 入金額			12,100円		
	③ 請求残額			0円		

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

他金融機関あて振込

送金結果

以下の内容で、他金融機関あて振込を受け付けました。

受付日時：令和 6 年 9 月 24 日 22 時 10 分
受付番号：924220492457

送金元口座

送金元口座	XXXXXXXXXX (代表)
-------	-------------------------------

送金内容

送金先口座		
送金先口座名義人名	カ) J T B 様	
送金指定日	令和 6 年 9 月 24 日	
ご依頼人名	4 3 1 - 0 サソウ タツトシ 様	
依頼人電話番号		
合計金額	送金金額	21,100 円
	送金料金	165 円
	合計金額	21,265 円

研 修 報 告 書

令和6年10月15日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 佐宗 龍俊

研修について下記の通り報告いたします。

記

研 修 日 令和6年10月9日（水） ～ 令和6年10月10日（木）
研 修 名 第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡
研 修 先 トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）
大会テーマ 「主権者教育の新たな展開」

研修内容等

〔第一日目〕

◎基調講演 菅義偉第99代内閣総理大臣が講演を予定していたが、諸般の事情によりビデオメッセージのみとなり、残りの時間は全国市議会議員団体補償制度等の説明となった。

◎パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター：井柳美紀氏（静岡大学人文社会科学部法学科教授）

- ・ 議長会による主権者教育の推進
- ・ 地方議会の課題として、投票率の低下、無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏り、など
- ・ 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること
- ・ いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずること

パネリスト：土山希美枝氏（法政大学法学部教授）

- ・誰がための主権者教育か
- ・議会は主権者教育の「主体」か？
- ・議会と子ども、若者たち、教育機関との関係のなかでの「主権者教育という機能」

パネリスト：越智大貴氏（一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事）

- ・若者の政治・社会への意識から考える主権者教育の必要性
- ・若者は、政治や社会をどう捉えているのか？
- ・学校現場における主権者教育の現状
- ・13年間の主権者教育の取り組みについて

パネリスト：渡辺嘉久氏（読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局）

- ・学校の未来を考える－50年後の学校に対し3つの選択肢を与えると、高校生はどれを支持するか？
- ・情報が未来を左右する－情報を持っているか？その情報は正しいか？
- ・投票は「こうありたい」未来を実現する
- ・「政治とつながる」とは？「政治」は「未来」－自分の未来を創造する

パネリスト：遠藤政幸氏（盛岡市議会議長）

- ・盛岡市議会高校生議会について
- ・次代を担う高校生が選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高める
- ・盛岡市議会として主権者教育に取り組むものであること
- ・議会の役割を理解し、市の施策を身近に感じる機会であること
- ・議員が高校生と直接交流する場であること
- ・市議会が大学におでかけし、学生と意見交換を行う「もりおか mirai おでかけミーティング」

〔第二日目〕

◎課題討議「主権者教育の取組報告」

コーディネーター：河村和徳氏（東北大学大学院情報科学研究科准教授）

- ・主権者教育の理想と現実
- ・現在の主権者教育で感じる限界
- ・政治に参加する方法
- ・アプローチを考える－議員と会うだけでも意味がある

事例報告者：白鳥敏明氏（伊那市議会前議長）

- ・高校生の議会傍聴と意見交換会の取組
- ・議員の感想と高校生の感想
- ・高校生との意見交換会報告書のまとめを各高校へ提出
- ・生徒から出された意見に対する市議会の検討結果
- ・高校生向けの意見交換会リーフレットを作成し、全校へ配布
- ・高校生からの意見を基にした課題
- ・中学生キャリアフェスへの参加

事例報告者：諸岡覚氏（四日市市議会議員 第83代議長）

- ・四日市市議会主権者教育の取組について
- ・「ワイ！ワイ！GIKAI」とは？
- ・各常任委員会が地域の高校・大学に出向きテーマをもとに意見交換会を開催
- ・高校生議会について－概要、本会議の様子、委員会の様子
- ・「よっかいち市議会だより #こども号」の発行

事例報告者：服部香代氏（山鹿市議会議長）

- ・山鹿市議会が取り組んだシチズンシップ教室
- ・なりたい職業ランキングベスト10入りを目指して
- ・なぜ、小学校でシチズンシップ教室を？
- ・シチズンシップ教室で伝えたいこと
- ・大きかった波及効果

所 感

今回の研究フォーラムは、「主権者教育の新たな展開」をテーマに、地方議会がどのように主権者教育に取り組むべきか、取り組んでいるのかを知り、本市議会の今後の取組を具体的に検討するための情報を得ることができた。

特に参考にすべきこととして、土山氏の「議会は教育機関ではないので、議会が主権者教育をしてあげる、というスタンスは間違っているのではないか。議会は議論する場であり、市民参加で議論をするなど市民との交流の場を提供し、市民に議会や政治に触れてもらう、知ってもらう、関心を持ってもらう、市民意見を収集することは重要で、議会がやるべきことだが、それらを“議会が行う主権者教育”と言うのは違うのではないか。」という内容で、主権者教育とは何ぞや？定義が明確になっていない現状で、議会がわざわざ「主権者教育」を行うと言わずとも、こどもから高齢者まで、全ての住民との交流や情報発信を行うことが、議会のすべきことの一つであり、主権者教育の目的につながっていくものだと感じた。

そこを踏まえた上で、主権者教育として、小学生から大学生までのこどもや若者が議会や政治、選挙に触れ、理解してもらえる機会を議会がつくっている具体的な事例を学び、現在本市で行われている「若者議会」(行政の取組ではあるが)以外の、小学生や中学生に対する取組、主権者教育につながる取組を本市議会でも検討し、実施していきたい。

以上

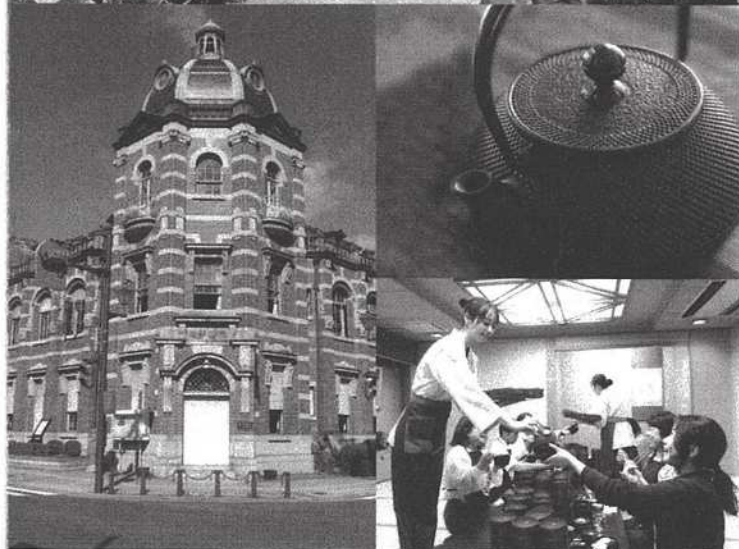
第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



「大会テーマ」

主権者教育の新たな展開



令和6年

10月9日[水] ▶ 10日[木]

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)



- 主催: 全国市議会議長会
- 後援: 総務省
- 協賛: 全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施: 第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会